

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川橋河川公園
	所在地	あきる野市留原 8 1 4 番地
	所管課	観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台 1 6 番地
	業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の利用等に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が、施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 3 施設の維持管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページURL	https://www.akirunokanko.com/?p=307	
指定期間	平成 2 9 年 4 月 1 日 ～ 平成 3 2 年 3 月 3 1 日	

2 施設の利用状況等について

項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開館等日数 (日)	290	297	289	286	292
来客者数 (人)	約 80,000	約 85,000	約 65,000	約 60,400	約 57,700
前年度比 (人)	5,000	5,000	△20,000	△4,600	△2,700
前年度比 (%)	106.7	106.3	76.5	92.9	95.5
利用料金等 合計 (千円)	73,156	64,659	61,358	59,402	57,739
前年度比 (千円)	6,679	△8,497	△3,301	△1,956	△1,663
前年度比 (%)	110.0	88.4	94.9	96.8	97.2

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	56,168	50,740	48,622	46,773	45,598
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	16,988	13,919	12,736	12,629	12,141
	計	73,156	64,659	61,358	59,402	57,739
支出	人件費	16,201	17,587	17,912	18,703	18,679
	維持管理経費	9,150	2,964	3,402	6,063	3,264
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	17,543	17,290	17,351	14,098	15,996
	計	42,895	37,840	38,665	38,864	37,939
収支（収入－支出）		30,261	26,819	22,694	20,538	19,799

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
直接、利用者に感想などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
園内アナウンスの音量が大きいとの苦情に対しては、定時放送の削減等を行い個別巡回により対応している。園内での迷惑行為として、テント利用客用の駐車スペースに他車輛が駐車したためこの車両の持ち主を探し車輛移動を行い解決した。その他の苦情に対しても、迅速に対応し、大きな問題はなかった。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
武蔵五日市駅から徒歩で行けるアクセスの良さや地域事業者と連携した食材の配達サービスの実施、鉄板等のレンタル用品を洗わずに返却できる仕組みなど、気軽にバーベキューを楽しめる施設として、利用者のサービス向上に努めている。また、地元のイベントの場所として提供している。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
適正人員配置の見直しを行い、勤務時間の短縮やより効率的な作業工程に取り組むとともに、手洗い場や調理場での水道、電気の使用時間を限定し、経費の削減に取り組んでいる。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
上半期は前年同様の来場者があったが、下半期においては、台風等の影響による河川敷の修復により11日臨時休業をしたことで利用者数は減少した。 経営状況は安定しているが、設備も老朽化しており、修繕費負担や最低賃金の上昇もあり、経費削減努力が結果として追い付かない現状である。また、閑散期の集客方法を検討するとともに、より良い施設・サービス提供を検討して収益・利用者数の増加に努めたい。 施設運営に関しては、各マニュアルに基づき利用者及び従業員の安全管理を図った。今後も、従業員に対する安全教育を強化し、労働災害の防止に努めていく。 また、利用者の事故防止対策として園内放送や定期的な見回りの実施、チラシや看板等による怪我や飲酒の注意喚起を行い、安全なレジャーに資する周知活動を行っていく。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
利用者に対する事故防止の注意喚起、管理区域内外の清掃、近隣住民に対する行事への貸し出しなど利用者と近隣住民に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。	
経費削減の取組	
利用者に配慮しながら、節電と節水に努め、経費削減に努めている。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
利用者数については前年度比約2,700人の減少、収入については約1,663千円減少している。収益額は昨年と比べ約739千円減少しているものの、19,799千円の収益がある。過去5年の収支状況も安定した黒字状態を達成していることから、経営状況は良好である。 今後も誘客活動に努めるとともに飲酒を含む事故等の防止に特に配慮し、利用者が安心して楽しめるサービス提供を行うことを期待する。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。